



2026 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 **ゲンゼ株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 佐口 敏康
(コード：3002、東証プライム)
本社所在地 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号
問 合 せ 先 執行役員コーポレートコミュニケーション部長
中嶋 順子
(TEL. 06-6348-1314)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 14 日に公表した 2026 年 3 月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	140,000	8,500	8,300	2,800	86.19
今回修正予想 (B)	133,000	6,400	6,300	1,600	49.51
増減額 (B－A)	△7,000	△2,100	△2,000	△1,200	—
増減率 (%)	△5.0%	△24.7%	△24.1%	△42.9%	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	137,117	7,921	8,180	6,279	189.70

(注) 2025 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 業績予想修正の理由

2026 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを踏まえ、2026 年 3 月期の連結業績予想を修正いたしました。

プラスチックフィルムは国内事業が堅調も、海外市場の消費停滞や低価格化影響が想定を上回り、エンジニアリングプラスチックスは半導体市場の回復が遅れる見通しです。また、メディカルは国内新商品の薬事承認の遅れや、中国販売での高額医療規制、日中関係悪化にともなう中国国産品の優先採用加速による影響の長期化が懸念され、アパレルは年初に公表した事業構造改革が順調に進捗していますが、消費者の買い控え影響に加え、暖冬により季節商品が低迷し、売上高は前回公表の業績予想を下回る見通しです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、主に売上高の減少にともない、前回公表の業績予想を下回る見通しとなりました。

なお、2026 年 3 月期の配当予想につきましては変更ございません。2025 年 5 月 14 日に公表の通り 1 株当たり 216 円の配当を実施する予定です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上